



狛江市立狛江第五小学校だより 《学校の教育目標》 明るい子 考える子 強い子

# がくとう

令和4年11月1日発行  
校長 伊藤 栄司

## 絵を読む絵本「純絵本」

校長 伊藤 栄司

今月14日（月）から読書月間が始まります。秋の夜長にはぴったりの行事なので、子供たちには日ごろ読むことが少ないジャンルの物語や絵本などたくさんの書物に触れてほしいと願っています。また、保護者の方と一緒に読む「親子読書」もおすすりめです。同じ本を親子で読み感想を伝えあうことで感じ方の違いや話の奥深さに気づくことができます。

### 純絵本のススメ

小学生になると文字のない絵本は手に取らなくなってしまう。私自身も低年齢の子供が読む絵本と決めつけていたところがあり、子供が大きくなってからはほとんど手にすることはありませんでした。ところが、先日、世田谷美術館で開催された特別展『「こぐまちゃんとしろくまちゃん」：絵本作家・わかやまけんの世界』を見て、純絵本の奥深さに引き込まれました。カラフルな色づかいやわかりやすい絵、何年たっても古さを感じさせないシンプルな形への追及があつてこそ、子供たちが成長の過程で一度は手にする絵本になっているのだと感じました。

### 絵を読む絵本「こぐまちゃんシリーズ」

綺麗な原色を使ったこぐまちゃんの絵本が本棚に置かれているご家庭もあるのではないのでしょうか。絵本に初めて触れる子供たちにとって、はっきりした輪郭や綺麗な色づかいはとても興味を引きます。また、こぐまちゃんの表情はほとんど同じに見えますが、何をしているのかがよくわかる絵のおかげで「嬉しい」「悲しい」「頑張っている」「楽しい」など気持ちまで読み取ることができます。

作者の若山憲さんは、絵の力で場面や設定を描写し、お話を伝えることに注力しました。読み手にとっては、動きのある絵のおかげで何をしているのかがよくわかり、物語を容易に想像できるのです。

また、子供たちに濁っていない美しい色を届けるためにそれぞれの色に対して専用のインクを作るとともに、浮世絵のように、一色ずつ版を彫りスミ（墨）、アイ（藍）、グレー、ミドリ、オレンジ、キイロの6色で仕上げられています。文字ではなく「絵」から物語を読み取る工夫が随所に見られ引き付けられます。※

### 語り合いながら

文字のある絵本では、決まったストーリーが中心になってしまいがちですが、「純絵本」は文字がないだけに発想は無限に広がります。「何をしているのかな」「どんな気持ちかな」等、子供と一緒に話しながら楽しむのがおすすりめです。他にも「かさ」：太田大八、「旅の絵本」：安藤光雅、「アンジュール ある犬の物語」：ガブリエル・バンサン等、子供から大人まで楽しめる文字のない絵本はたくさん出版されています。豊かな発想によって無限大に広がる物語を子供と一緒に楽しみください。

※「こぐまちゃんとしろくまちゃん」絵本作家わかやまけんの世界より

【11月の行事予定】

7日(月) 学年朝会(安全指導日) WEBQU開始 委員会活動	14日(月) 朝会 読書月開始 クラブ活動	24日(木) 展覧会前日準備 25日(金) 展覧会(児童観賞日) 26日(土) 土曜授業(学校公開) D時程 展覧会(保護者観賞日)
8日(火) 校外学習予備日(3) 9日(水) 集会 10日(木) 校外学習(4) 11日(金) WEBQU終了	15日(火) みそ作り(3) 16日(水) 集会 18日(金) 展覧会会場設営(6)【6h】 21日(月) 朝会 22日(火) 避難訓練	28日(月) 朝会 展覧会片付け(5) 30日(水) 集会

11月の生活目標：「工夫して仲良く過ごそう」

秋の深まりを感じる季節になりました。秋晴れの日の休み時間に、子供たちはとても気持ちよさそうに外で思い切り遊んでいます。11月の生活目標は「工夫して仲良く過ごそう」です。自分たちで遊びを工夫し、友達同士お互いに楽しく過ごすことはとても大切です。晴れている日は、遊びの内容や場所などをそれぞれが考えながら外で体を動かすこと、雨の日は教室で仲良くできる遊びを工夫することを指導しています。また、寒さが増してくるこの時期は、空気も乾燥してきます。学校でも手洗いやうがいと呼びかけていきます。ご家庭でも健康への配慮をお願いします。

(生活指導委員会：赤坂 淳)

展覧会：11月25日(金)～26日(土)

『一人一人の違いが何よりも尊く豊かであること』

図工はそれぞれの子供たちの『これがいい!』をつくりだす教科です。正解は決まっていません。

活動しながら感じたり、考えたり、気づいたりしながら自分の価値を生成していきます。

「こんな形の組み合わせが好き。」「いろんな色を混ぜたら素敵な感じになった。」「ダイナミックな感じより繊細な感じがいい。」「カサカサした質感よりツヤツヤがいい」などそれぞれの子供が自分にフィットした感じに出会うことや自分で決めることを何よりも大切に授業をしています。

また、家庭科は生活の中をより豊かにしていく素地を育みます。私は小学5年生の家庭科で習ったお湯を沸かす授業が感動的でした。家に帰って、自分でお湯を沸かしてつくったインスタントラーメンの味は格別で、今でも心に残る原体験です。

上手や下手などの単一の見方や考え方は、図工や家庭科で一生懸命につくった子供の苦労やアイデアに寄り添うには不十分です。保護者の皆様、地域の方々には『子供がどんな考えや想いを抱いたのか』

その息吹を展示された作品から考え、感じとっていただければ幸いです。

保護者の方々の鑑賞日は26日(土)です。感染症予防対策として、各学年の保護者の方々には時間を区切ってご鑑賞いただきます。詳しくは別途配布の展覧会のプログラムをご覧ください。26日(土)は展覧会のみでの公開です。各家庭2名までご鑑賞いただけます。

(展覧会実行委員長：図工専科/山野井 誠)

3年生 運動発表会の感想

10月15日(土)に運動発表会が行われました。子供たちは、2学期が始まってから毎日、表現運動や短距離走の練習に一生懸命に取り組みました。当日は練習の成果が十分に発揮され、たくさんの声援と拍手を受け子供たちはとても嬉しそうでした。運動発表会後に書いた感想の一部を紹介します。

(1組)

・80m走でももを上げ、腕を大きく振って練習しました。思い切り走ったらこんなに気持ちが良いんだと思いました。(K.Y)

(2組)

・きつねダンスでは、かわいくおしりを横に振ったらいいと思って、やってみたら楽しそうにできました。(T.K)

(3組)

・走る時に姿勢を低くして力を出し切って走ったら、風が気持ちよくて、ゴールした時にはさすががしかったです。(K.Y)

狛江市だよりはこちらから。

